

(資料2)

令和8年度 岩手県立大野高等学校経営計画（案）

校長： 曾根 達也

1	校訓・教育目標	【校是～誠意 進取 創造～】 知・徳・体の調和のとれた心身ともに健全な人間の育成を期し、生徒の持つ優れた素質と能力を十分に開発伸長させ、地域社会の発展に貢献する人材の育成を図る		
2	スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	誠意：主体的に他者とかかわり協働することで、異なる考えを受け入れる寛容さを身につけ、共創できる力を育成します 進取：一人ひとりの特性や持ち味を生かし、目標に向かって意欲的に学び、より高い課題に挑戦する力を育成します 創造：地域を愛し、貢献することに生きがいを持ち、地域の未来を創造する力を育成します	
		(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・ 1学年では基礎的な知識・技能を修得するため、共通科目を必修としたカリキュラムとし、2・3学年では一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に因るための選択科目を設置したカリキュラムとします ・ ICTを活用し、各教科・科目の授業や探究活動で展開される課題解決活動を通して、主体的で対話的な深い学びを实践し、思考力・判断力・表現力を伸ばします ・ 地域資源を活かした活動、学校行事、部活動を通して、望ましい人間関係の形成や豊かな心と体を育む活動を行います	
		(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	誠意：他者との対話的な学びを大切にしながら自分を磨き、協力して物事に取り組める生徒 進取：進んで学習・部活動・生徒会活動に参加し、自分を高め、成長を志す意欲がある生徒 創造：自ら問いを立て、課題を解決する学びをとおして、地域社会の発展に貢献したい生徒	
3	魅力化協働パートナー	洋野町、おおのふるさと公社、みちのく大寿会、岩手県立大学、おおのミルク工房、岩泉まつたけ事業協同組合、洋野町観光協会、大野高校同窓会、大野高校PTA		
4	目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
			ア 分かりやすい授業に努め、基礎基本を定着させ、確かな学力を育成する。	・ 学校評価「学力向上」における生徒・保護者の満足度 90%以上
			イ キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。	・ 3年進路達成率 100%
			ウ 様々な行事や活動を通して生徒の主体性を育み、生徒の自己有用感の醸成に取り組む。	・ 学校評価「自己有用感の醸成」における生徒・保護者の満足度 90%以上
			エ 実効的に機能する学校いじめ対策組織を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる。	・ 学校評価「いじめ防止の取組」における生徒・保護者の満足度 90%以上
			オ 地域と連携した活動に取り組み、地域に信頼され、魅力ある学校づくりに取り組む。	・ 学校評価「地域連携」における生徒・保護者の満足度 90%以上
			カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する。	・ 学校評価「学校生活」における生徒・保護者の満足度 90%以上

(資料2)

	(2) 取組方針	<p>ア 分かりやすい授業に努め、基礎基本を定着させ、確かな学力を育成する。 (ア) 分かりやすい授業に努め、生徒の主体的な学習活動や協働による学びを工夫し、生徒個々の実態に即した個別最適な学びにより基礎学力の定着を図る。 (イ) ICT機器の授業での活用を一層推進するため、校内研修会や授業研究会を実施する。</p> <p>イ キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。 (ア) 生徒の進路希望を実現するために、個々の特性や能力を把握し、発達段階に応じた計画的な課題を設定する。 (イ) 総合学習、インターンシップ、キャリアパスポートの活用等を通じて主体的に進路を選択し、決定できる能力を育てる。</p> <p>ウ 様々な行事や活動を通して生徒の主体性を育み、生徒の自己有用感の醸成に取り組む。 (ア) 生徒一人ひとりが各種行事や活動に自主的かつ主体的に取り組むよう支援する。 (イ) 様々な活動を通して、社会の課題に関心を持ち、その解決に取り組もうとする態度を育成する。</p> <p>エ 実効的に機能する学校いじめ対策組織を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる。 (ア) 授業や行事の中で、生徒に存在感や充実感が得られる「心の居場所」を提供し、主体的・共同的に取り組む「絆づくりの場」を保障する。 (イ) 自他の生命とお互いの人権を尊重し、大切にすする明るい学校づくりに努める。 (ウ) 「いじめ問題」と「自殺未然防止」に組織的に取り組む。教職員の資質向上のため「いじめ防止」や「心のサポート」研修会を実施する。</p> <p>オ 地域と連携した活動に取り組み、地域に信頼され、魅力ある学校づくりに取り組む。 (ア) 地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚を持って地域の活性化に貢献する人材を育成する。 (イ) 高校の魅力化促進事業や生徒の主体的な活動を通して、魅力ある学校づくりを進める。</p> <p>カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する。 (ア) 全教職員等が子どもの権利条約等についての理解を深め、生徒の人権を尊重した指導を行う。 (イ) 生徒への指導方法の改善等について、情報共有や意見交換を行うと共に、主体的に研修に参加する。</p>
5	業務量管理・健康確保措置	・月当たり時間外在校時間の縮減 ・産業医の保健指導やメンタルヘルス相談等の活用推進